

公園でやりたかったこと
実現しませんか？

都市公園制度制定150周年記念事業

「はま・ゆめパーク」 公園活用企画 募集!

応募締切

2023
8/15
(火)



公園活用企画の例

自然や緑を身近に感じることができたり、環境にやさしい遊びや様々な体験ができたりする企画

子どもたちが、気軽にスポーツやレクリエーション体験ができる企画

2027年開催「国際園芸博覧会」を盛り上げる、花や緑に関する企画



その他、公園でやりたい企画をどしどし応募ください!

「はま・ゆめパーク」 公園活用企画 募集のご案内



「はま・ゆめパーク」とは？

皆さまから「公園というフィールドを活用して、地域の仲間とこんなことをやってみたい」、「自分の会社でこんなことを公園でしてみたら楽しいのではないか」と思う、自由な発想による企画をご応募いただきます。

横浜市は、応募いただいた企画の中から、実現に向け取り組む企画を選び、実現するため、様々な支援を行います。

何を支援してくれるの？

たとえば…

- 企画に対する助言をします
- イベントの広報や、情報を発信します
- 市の物品を貸し出します
- 関係機関との相談に一緒に行きます
- 公園使用料を無料にします



だれでも応募できるの？

横浜市の公園の活用に関心のある個人、団体、企業、個人事業者など、提案した企画を自ら実施していただける方であれば、どなたでもご応募できます。

応募方法は？

150周年記念事業のWebサイトの企画書に必要事項を記入し、メールまたは郵送でご応募ください。

応募先

メールで
ご応募 ks-koen150boshuu
@city.yokohama.jp

郵送で
ご応募 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
横浜市環境創造局公園緑地管理課
「はま・ゆめパーク」事務局 行

〆切 お問い合わせ先

2023年8月15日(火) 必着 TEL:045-671-2642
(平日 9:00~17:00)
メールでも可

企画書様式・
応募方法など
詳しくはこちら ▶



事前のご相談も
受け付けています!

みどりの歩み 横浜の公園と



1873



1923



1967

明治6年、明治政府は全国の府県に対し、「群衆遊観の場所」を公園として定める旨の太政官布達を出しました。これが日本の都市公園制度の始まりです。横浜ではこれに先立つ明治3年に、横浜居留外国人により、日本初の西洋式公園として山手公園が造られました。

大正12年、関東大震災が横浜を襲い、多くの建物が倒壊しました。復興公園として計画された山下公園は、震災の瓦礫を埋め立てた上に造られました。

その後、横浜市では公園整備を進め、令和4年度末時点で市内の都市公園は約2700か所、面積は1800ha以上となりました。

横浜の公園
の歴史を
見てみよう!



「横浜の公園と
みどりの歩み」の
詳しくはこちら ▶



「はま・ゆめパーク」は、日本の都市公園制度制定150周年を記念し、
これからの公園の新たな活用や、魅力あるまちづくりを進めていくことを目的としています。